



かざみどり 2019年12月号

～母の会ニュース～

発行元：学校法人 母の会 さいたま市浦和区本太 1-20-10
TEL：048-882-9262 E-mail: info@hahanokai.ac.jp

たねの家

11月13日（水）にたねの家でも収穫感謝礼拝を行いました。子どもたちが野菜や果物を持ち寄り、秋の実りを神様に“ありがとう”と祈りました。今年はずっとみんなの家の子どもたちと一緒に集まりました。たわわに実ったデコポンの樹の下で新しい友だちと共いうれしいひとときを過ごしました。



デコポン樹の下で



みんなの家の新しい友だちと

みんなの家

開園して2か月がたちました。子どもたちもみんなの家の生活に慣れてきました。特に0歳児の子どもたちの成長には目を見張ります。有りあまるエネルギーを発散して、走り回り、寒さも吹き飛ばすようです。



小さい子どもたちにとっては、山神社のお散歩は大冒険。ときどき遊ばせてもらっています。



雨の日。室内で、手作りトンネル滑り台で遊びました。

木の家

～今日は嬉しい感謝祭～

子どもたちの元気な賛美歌が聞こえてきます。この日は秋の収穫を神さまに感謝する日。今年はずっと卒園児のおばあさんから畑で採れた1m以上の葉つきの里芋をいただいたり、子どもたちが掘ったさつまいも、白菜、キノコ、沢山の収穫物を飾り礼拝しました。

次の日は園児全員が集まった野菜で豚汁を作り、親子で食べたり、沢山集まったみかんやリンゴを持参して駅や消防署、ご近所の方々のところに訪問に出かけたりと秋の実りをみんなで分かち合う豊かな時を過ごしました。全て神さまに感謝する出来事でした。



礼拝で飾った収穫物



豚汁をみんなで作りました

嬉しい出来事



道端に落ちていたハンカチを見知らぬ誰かが拾い、ジップロックに入れておいてくださいました。そして、通りがかった母の会のお母さんがハンカチに記名されている園児名を見つけ、園に届けてくれました。「やっぱり名前を書くのは大事ですね」拾って丁寧に扱ってくださった地域の方、知らん顔せず持参して下さった保護者の方の親切に、朝から心がぽかぽかになりました。

〈母の会インスタグラムより urawa_hahanokai〉

園庭開放へようこそ 12月号

認定こども園 母の会

12月の園庭開放

下記の日時であれば、いつでも好きな時に遊びに来られるのが園庭開放の魅力です。おむつ替えスペースや砂場の衛生面の心配もありません！ 在園の方はもちろん、園にご興味のある方は見学がてら気軽に遊びにいらしてください。名札をつけた担当スタッフが常駐しておりますので、子育ての楽しみ方や悩み、また園についてのご質問など、いつでもお待ちしております。 ※雨天時は室内を開放しています。

たねの家 火曜日	木の家 水曜日	たねの家 土曜日
3日 9:30~11:30	4日 13:00~15:00	7日 9:00~12:00 10:00~ 「音あそびの会」 こころと体で音を楽しみます！ 今月は『リコーダー クリスマス ミニコンサート』です♪
10日 9:30~11:30	11日 13:00~15:00	14日 9:00~12:00 10:00~ 「ピカソの会」 親子で一緒にピカソになって遊びます！ 今月は『紙粘土でもみの木づくり』お楽しみに。
17日 9:30~11:30	18日 園庭開放お休み	21日 9:00~12:00
24日 9:30~11:30	25日 13:00~15:00	28日 園庭開放お休み 年末年始休園日 12/29(日)~1/3(金)

母の会でお祝いするクリスマス

クリスマスといえばどのような事を思い浮かべますか？楽しい曲、ツリー、パーティ、プレゼント交換等、各家庭で様々な形で過ごしているかと思いますが、キリスト教ではなぜクリスマスをお祝いするのか、母の会の様子も交え、少し記したいと思います。

クリスマス

神のひとり子であるイエス・キリストは、誰にも知られず、バツレヘムの馬小屋でひっそりと生まれ、かいは桶に寝かされました。クリスマスは、このイエス・キリストの誕生を喜び、感謝し礼拝をささげる日です。

クリスマスツリー

クリスマスツリーを飾る習慣はドイツから始まったと言われていています。ツリーには必ず常緑樹を用いますが、強い生命力を持って一年中葉を茂らせる緑の姿は永遠を表し、神の永遠の愛やイエス・キリストが与える永遠の命を象徴しています。たねの家と木の家にももみの木があります。

クリスマスページェント

イエス・キリストの降誕の物語を表現する劇のことで、日本ではクリスマス時期に行う光のイルミネーションのことを指すことも多いのですが、本来のページェントは聖誕劇・降誕劇という意味です。

母の会では子どもたちがページェントを通してイエス様の誕生をお祝いします。



アドヴェント

最近よく耳にするアドヴェントカレンダーのアドヴェントは、ラテン語で「到来」を意味し、クリスマスを心待ちにし、準備をする期間のことです。クリスマス直前の日曜日から数えて4週間前の日曜日から、クリスマスに至るまでを指します。母の会では11月27日からアドヴェント礼拝を守っています。

クリスマスプレゼント

神様はご自分のひとり子であるイエス様をこの世に贈ってくださいました。イエス様が誕生した時に博士たちは贈り物をしましたが、私たちはイエス様に直接贈り物をすることはできません。しかし、人に優しくすることは、イエス様に対してしていることとなります。プレゼントをもらうことを期待する子が多いかと思いますが、贈ることに大きな意味があるのです。